

課題別研修コスタリカ在外研修「生活改善アプローチ - 持続的農村開発のための普及手法の適用と普及員育成-」開講式挨拶

2024年11月18日

JICA コスタリカ支所長

吉田憲

おはようございます。

ジェニフェレ・ウガルデ様（国際協力担当、保健省）

ハイナー・ムリージョ様（農牧省、農業普及部代表）

特別ゲストの皆様、ブルーノ・モヒカ教授（パナマ農村開発全国ディレクター、農業開発省）、ダヤナ・カストレジョン様（パナマ農業開発省、農村女性プログラムアシスタント）、カレン・バスティダス様（エクアドル「エル・ポデル・デ・ウナ・ウアルミ」副代表）

NPO 法人国際農民参加型技術ネットワーク（IFPaT）理事の和田彩矢子様

JICA 筑波の同僚である秋山幸代様

そして、ボリビア、コロンビア、コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、パナマ、パラグアイ、ペルー、ドミニカ共和国からお越しの「生活改善アプローチ」研修の参加者の皆様、

ようこそコスタリカへ。皆様をお迎えでき、大変嬉しく思います。

まず、2024年度「生活改善アプローチ - 持続的農村開発のための普及手法の適用と普及員育成-」プログラムへのご参加を祝福いたします。これまでの日本およびオンラインでの研修が興味深く、学びの多いものだったことと存じます。また、今日からのコスタリカでの時間が皆様の専門的な実践において有益で豊かなものとなることを期待しています。

この訪問の目的は、生活改善アプローチを適用するための普及および適用手法を習得し、現場たるオロティナ、サラピキ、ラ・クルスの各地域での具体的な適用事例を学ぶことにあります。

農村開発政策に関する講義や、元参加者が活動を行う地域を訪問することで、良い実践の振り返りや共有を促進したいと考えています。その結果として、各国で生活改善アプローチのプロジェクトを開発するためのより良い学びを得られることを願っています。

また、このコースを通じて、中南米各国の同僚とのネットワークを築くことを期待しています。

このように、JICA としては、皆様が変革の担い手となり、地域社会の発展や全ての人の生活の質の向上を推進する活動や良い実践を生み出していくことを信じています。

皆様の成功を祈り、「プーラ・ビダ（コスタリカの挨拶：最高の人生を）」と申し上げます。

以上

【参考】

[「課題別研修の持つ力と可能性～生活改善アプローチの適用性、コスタリカの生活改善実践事例から学ぶ～」](#)

[生活改善アプローチ普及のための小冊子発行！（課題別研修に参加した帰国研修員の活躍）](#)

